震災から2ヶ月間の日誌

■ はホームページ更新の記録

月	日付	出来事と動き
3月	11日（金）	**14時46分　東北地方太平洋沖地震発生** 大学に登校していた学生及び出勤していた教職員等の安否確認ならびに建物等の被災状況確認を行う。全員の無事を確認。建物については外壁仕上材の一部落下・ひび割れ、建具ガラス破損・ひび割れ、給水管一部破損、ボイラー釜停止を確認。 全地区において電気、水道、ガスが不通となる。 翌12日に予定されていた後期日程入試の延期を決定、報道機関を通じて周知を行う。 帰宅困難な学生14名及び下見のため訪れていた受験予定者1名、保護者1名に対して大学施設（構内合宿施設）を提供。 備蓄していた非常食や水の在庫を確認し、一部上杉に届けるとともに、職員が大学に宿泊し、24時間体制で非常時の対応に備える。
	12日（土）	7時30分頃、構内と外部との電話が不通になる。 ライフラインのうち、電気は東北電力等に出向いて復旧の見通しの立たないことを確認、また水道とガスも同じく見通し立たず。 萩朋会館を本学関係者の避難場所とし、職員宿舎の方々により炊き出しはじまる。
	13日（日）	通電している教員の自宅から安否確認用フリーメールのアドレスを取得し、学生からの連絡先を確保。 15時30分頃電話が復旧。 学生の安否確認を行っていることを報道機関を通じて周知。学生からの連絡が入りはじめる。 上杉地区の電気及び給水が復旧。
	14日（月）	「災害対策本部」第1回会議が開かれる。 平成23年度後期日程の実技及び面接試験を中止し、合否判定は、大学入試センター試験の点数のみで行うことを決定。 入学手続きの期間を3月18日まで延長することを決定。
	15日（火）	青葉山地区の電気（男子寄宿舎の一部を除く）が復旧。 学位記授与式の中止を決定。 「震災に伴う重要なお知らせ」をホームページに掲載。 **学生へ安否情報提供の呼びかけ、学位記授与式の中止、後期日程試験の中止、入学手続きの延長、附属学校部の休校期間、救援物資への御礼**
	16日（水）	入学式の中止を決定。 教授会（第9回）開催。冒頭に1分間の黙祷。平成22年度学位記授与式及び平成23年度入学式中止を決定したことが報告される。 水の森地区の電気が復旧。

3 月

17日（木）

入学式中止のお知らせ

学長からのメッセージ「学生の皆さんへ―未曾有の大震災に際して―」をホームページに掲載。

青葉山及び上杉地区建物の安全確認のための現地調査予告、救援物資への御礼

学生の被害状況調査を開始。

青葉山地区の給水（一部）が復旧。

18日（金）

学位記の伝達方法について、安否確認・安否情報（第1報）、新学期の授業開始日について、附属学校部の行事日程、学生の被害状況調査について、義援金の御礼

19日（土）

青葉山及び上杉地区建物の安全確認のための現地調査を21日まで実施。

安否確認において、学部学生1名（留学生）以外の全員の無事を確認。

安否確認・安否情報（第2報）

20日（日）

救援物資への御礼

21日（月）

被災した学生のみなさんへの支援について（授業料免除等）、本学のライフライン復旧状況について、構内への立入禁止期間について

22日（火）

臨時教授会開催。学生の安否状況、学生の被災状況、建物の安全確認及びライフライン復旧状況について報告される。

仙台市営バス、工学部・宮教大線が運行を再開。

23日（水）

上杉地区・水の森地区の建物の安全確認点検の結果、建物の使用が可能となった。

平成23年度授業開始等について、合格者発表について、入学手続きについて、被害を受けた学生及び新入生の居住場所の確保について、新入生オリエンテーション・ガイダンスの延期等について、本学のライフライン復旧状況について、教育研究設備被害状況調査について、救援物資への御礼

24日（木）

入学料及び授業料免除の受付期間を4月22日まで延長することを決定。

学生寮の入寮手続の書類提出を4月4日まで延長することを決定。

被害を受けた学生・新入生の居住場所の提供について、相談受付を開始。

被災した学生のみなさんへの支援について、学生寮への入寮手続き期間延長について、附属学校部の行事日程について

25日（金）

学長からのメッセージ「平成22年度学位記授与にあたって」をホームページに掲載。

青葉山地区の建物の安全確認点検の結果、建物の使用が可能となった。

震災に伴う就職関係について、学生のみなさんへのメンタルヘルスケアについて

26日（土）

気仙沼市教育委員会を訪問、支援物資を持参。

被災した学生のみなさんへの支援について、応急危険度判定結果について

■ はホームページ更新の記録

月	日付	出来事と動き
3月	27日（日）	文部科学省高等教育局・磯田局長が本学を視察。 **学生の構内立入について、本学のライフライン復旧状況について**
	28日（月）	安否確認が取れていなかった留学生1名について居場所が確認でき、学生全員の無事を確認。 青葉山地区の給水が、一部復旧。 新入生合宿研修（5月7～8日実施予定）の延期を決定。 震災により被害を受けた学生に対して、学生相談コーナーを設置。 気仙沼市・宮城教育大学連携センター、気仙沼市教育委員会を訪問、支援物資を持参。
	29日（火）	**被災された入学予定者及び在学生のみなさんへの経済支援について、安否確認・安否情報について（第3報）（全員の無事が確認された）、新入生合宿研修について、学生相談コーナーの設置について、各学生の個人メール登録について、合宿研修施設の利用停止について、体育館等運動施設について、宮城教育大学生活協同組合の営業について**
	30日（水）	青葉山地区のガス順次復旧。 **日本学生支援機構奨学生採用候補者（予約採用者）の皆様へ、平成23年度日本学生支援機構奨学生（在学採用）の募集について、義援金への御礼**
4月	1日（金）	災害対策本部24時間体制の解除。 **平成23年度授業開始等について、学籍異動について、本学のライフライン復旧状況について**
	4日（月）	青葉山地区の給水が全面復旧。 **教育実習事前指導、介護等体験事前指導等について**
	5日（火）	「みやぎ・仙台未来づくりプロジェクト」を設置。 **教員採用試験対策勉強会のお知らせ、災害ボランティア参加学生の方へ、平成23年度学生関係窓口業務について、学生相談室の開室について**
	6日（水）	学長からのメッセージ「宮城教育大学平成23年度新入学生へ」をホームページに掲載。 学長から教職員へのメッセージ「教職員の皆さんに―平成23年度の開始に当たって―」を全教職員にメール送信。 被災学生支援のための募金活動「東日本大震災宮城教育大学被災学生支援募金」募金の受け入れを開始。 **「東日本大震災宮城教育大学被災学生支援募金」の受け入れについて、震災に伴うボランティアの登録について**
	7日（木）	文部科学省大臣官房文教施設企画部・辰野部長が本学を視察。 23時32分、大震災後最大の余震発生（マグニチュード 7.4　震源：宮城県沖）。直後に学長、各理事、関係課長等が参集し被害状況確認を行う。 **被害を受けた学生及び新入生の居住場所の確保について（女子寮が満室となった）**
	8日（金）	青葉山地区が断水。

4 月

10日（日）
仙台市教育委員会、宮城県教育委員会を訪問。
4月7日の地震による安否及び被害状況確認について、新入生オリエンテーションの日程について
気仙沼市教育委員会を訪問、支援物資を持参。

11日（月）
全教職員に呼びかけを行い14時46分より1分間の黙祷。
震災に伴うボランティアの登録について

12日（火）
七郷中学校を訪問。
平成23年度日本学生支援機構奨学生（在学採用）の募集について

14日（木）
青葉山地区の一部の給水が復旧。以後、順次復旧。
塩竈市・七ヶ浜町・多賀城市教育委員会を訪問、支援物資を持参。
名取市・岩沼市・亘理町・山元町教育委員会を訪問、支援物資を持参。
平成23年度授業計画について、平成23年度教育実習事前・事後指導及び介護等体験事前指導について

15日（金）
石巻市・東松島市・女川町教育委員会を訪問。
災害ボランティア参加学生の方へ、平成23年度学生定期健康診断の実施について、災害学生ボランティア活動への支援について

18日（月）
文部科学省生涯学習局政策課・上月課長が本学を視察。

19日（火）
栗原市教育委員会を訪問。

20日（水）
「宮城県発表」空間放射線モニタリング情報について

21日（木）
新入生オリエンテーションの日程について、宮城教育大学生活協同組合の営業について

22日（金）
学生オリエンテーションの実施について

28日（木）
三菱商事緊急支援奨学金（日本国際教育支援協会冠奨学金）の募集について、あしなが育英会奨学金（特別一時金）及び特例あしなが奨学金の募集について、全国大学生活協同組合連合会による「震災で父母・扶養者を亡くされた方へのお見舞い金」の支給について

5 月

2日（月）
「災害対策本部」を「教育復興対策本部」に切り替え、第1回会議が開かれる。

6日（金）
新入生オリエンテーション・ガイダンスを実施。
学長からのメッセージ「平成23年度教育学部新入学生へ」、「平成23年度教育学研究科新入学生へ」をホームページに掲載。

9日（月）
平成23年度授業開始。
平成22年度学部卒業生答辞及び大学院修了生答辞を掲載

救援物資を頂いた報告と御礼

東日本大震災に際し、全国の国立大学法人様及び株式会社ジェイ・エス・ビー様から本学に救援物資をお寄せいただきました。また、本学の元教員や教職員からも、物資や義援金のご提供がありました。

救援物資としてご提供いただいたものは、水・米などの食糧、マスク・消毒用アルコールなどの衛生用品、カイロや電池、ブルーシートなどの雑貨、ガソリンや灯油などの燃料、薬品など、すぐに必要なものばかりで、大変助かりました。

これらの物資は、本学及び本学の附属学校をはじめ、男・女各寮、本学の気仙沼連携センター、気仙沼鹿折小学校、岩手県大船渡市、名取市、岩沼市、亘理市、山元町、多賀城市、七ヶ浜市、塩釜市、女川町、石巻市、東松島市、南三陸町などにも供出いたしました。

みなさまのあたたかいご支援に、心より感謝し、御礼を申し上げます。ありがとうございました。